

日本共産党別府市議団

新年度予算について要望書を提出

12月27日、新年度予算に関し日本共産党市議団として申し入れを行いました。日本共産党市議団は、ほぼ毎年新年度予算について要望書を提出しています。

市民の暮らしと

福祉を守るために

地方自治体の本来の仕事は、住民の暮らしと福祉を守ることです。自治体の仕事は住民に奉仕することです。いま行政に求められていることは、東日本大震災の教訓をいかすこと、そして、別府の地域経済の落ち込みのなか市民の暮らしを応援することです。国としては内需拡大に思い切つて舵を切るこ



と、地方では地域内の経済循環・再投資力を高めることが必要だと考えます。

国保税の引き下げなど

強く求める

日本共産党市議団（平野文活・えんど久子）はこの立場から、54項目の要望を申し入れました。特に、浜田市長の選挙公約であり、市民の切実な願いである国保税の引き下げや住宅リフォーム助成

制度を新年度当初予算で実現することを強く求めました。対応した友永副市長と大野企画部長に文書での回答を求めました。副市長は2月に文書で回答すると答えました。



新年度予算について文書で申し入れ話し合う。
向こう側、左より平野・えんど両市議

2011.12.27.

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.496
2012.1.18.

2012年度予算に関する申し入れ 主な項目

〈防災・消防〉

- ・津波被害の見直しにより浸水が想定される地域での人命を守る対策を急ぐこと。
- ・海岸線での避難ビル指定と避難訓練を早急にすすめること。
- ・津波警報などの情報が短時間で地域住民に周知される体制をとること。
- ・公民館など避難所に指定されている公共施設の耐震補強は、年次計画を立てて早期に完了すること。
- ・現在見直し中の地域防災計画では、原発事故を想定した計画とすること。

〈高齢者福祉・介護保険〉

- ・第5期介護保険事業計画では、保険料の値上げはしないこと。そのためには、財政安定化基金の取り崩し対象を市拠出金だけでなく、県・国分まで広げ、各市町村に配分するよう国・県に働きかけること。また、所得段階の細分化や一般会計からのくり入れについても検討すること。
- ・介護保険料軽減制度の条件を緩和し、対象者を広げること。

〈国民健康保険〉

- ・国保税の大幅引き下げを実現すること。累積赤字については、一般会計からの繰り入れで解消すること。

〈同和対策〉

- ・特定の同和団体への団体補助金について厳格な監査を実施し、廃止すること。

〈社会福祉〉

- ・ケースワーカー一人あたりの担当は「80世帯以内」とされているが、現状は大幅に超えている。体制を強化してきめ細かな対応ができるようにすること。

〈児童福祉〉

- ・一人親家庭医療費助成制度は現物支給にするよう、県に働きかけること。
- ・子どもの医療費は、通院についても中学校卒業まで無料にすること。
- ・中部地区に児童館・子育て支援センターを新設すること。

〈障がい者福祉〉

- ・重度障害者医療費助成制度は現物支給にするよう、県に働きかけること。
- ・幅広い意見をふまえ、「障がいのある人もない人も安全・安心に暮らせる別府市条例」を制定すること。

〈商工・労働〉

- ・地元業者の仕事確保のため、「住宅リフォーム助成制度」を新年度予算でただちに創設すること。

〈観光・まちづくり〉

- ・観光まちづくり課の業務内容を見直し、イベント等に忙殺されることなく、政策立案や観光客誘致などの本来業務に力を入れること。

〈教育〉

- ・緊急雇用交付金を活用して実施している学習支援サポーター、保育支援サポーターは、交付金終了後も市単独事業として継続すること。

など54項目